

印刷物作成仕様書			
件名	「女性首長によるびじょんネットワーク」イベント周知用チラシ（会議）ほか4点の印刷		
内訳	①イベント周知用チラシ（会議、ECサイト、物産フェア）	②当日配布用リーフレット（日本語版） ③当日配布用リーフレット（英語版）	④実行委員会等用イベント結果報告書（会議） ⑤実行委員会等用イベント結果報告書（丸の内物産）
数量	20,000部	② 500部 ③ 60部	④⑤ 各300部
規格	大きさ：A4版 製版：オフセット両面印刷（4色刷り・2ページ） 材料：コート紙 110kg	大きさ：A4版（仕上がりサイズ） 製版：オフセット両面印刷（4色刷り・8ページ） 材料：コート紙 110kg 仕立：針金2か所止め（中とじ）	大きさ：A4版（仕上がりサイズ） 製版：オフセット両面印刷（4色刷り・12ページ程度） 材料：マットコート紙 110kg 仕立：針金2か所止め（中とじ）
納入日	女性首長によるびじょんネットワーク実行委員会が指定する期日		
納入場所	女性首長によるびじょんネットワーク実行委員会が指定する場所		
納入方法	100部又は500部毎に封入・封減し、側面の見やすい箇所に品名、内容数量を表示すること。		
備考	原稿は「委託内容詳細」に基づき受託者が原案を作成すること。		
注意事項	<p>1 受託者は、契約締結後速やかに委託内容、履行スケジュールについて、実行委員会と十分な打合せを行うこと。また、作業全体の工程表を実行委員会に提出し、承認を得ること。</p> <p>2 全体のデザイン案を作成し、提案すること。デザイン案は2案以上提示し、実行委員会と協議の上決定すること。なお、別途実行委員会が提供するロゴマーク等を使用すること。</p> <p>3 本印刷物の著作権は、実行委員会に帰属する。作成に当たっては、第三者の権利を侵害することのないよう、イラスト、写真、図、データ等（以下「イラスト等」という。）の掲載依頼・許可等が必要な場合は、受託者が事前に適正に処理すること。デザインの修正、加筆等に係る費用に関しては、受託者が負担すること。</p> <p>4 掲載したイラスト等については、入手先及び連絡先を一覧表にして実行委員会に提出するとともに、印刷物完成後にPNG形式及びPDF形式のデータをDVD等で納入すること。</p> <p>5 校正は合計3回以上（うち色校正1回以上）行うこと。また、各自治体に対しても掲載内容の確認を適宜行うこと。</p> <p>6 使用する用紙（冊子の表紙を除く。）について、バージンパルプを使用する場合は、その原料の原木は、伐採に当たって、原木の生産された国又は地域における森林に関する法令に照らして手続きが適切になされたものであること。ただし、合板・製材工場から発生する端材、林地残材、小径木等の再生資源により製造されたバージンパルプには適用しない。なお、次の項目を満たすよう、努めること。</p> <p>(1) 古紙パルプ配合率、森林認証材パルプ利用割合、間伐材等パルプ利用割合、その他の持続可能性を目指した原料の調達方針に基づいて使用するパルプ利用割合、白色度及び坪量を総合的に評価した総合評価値が80以上であること。</p> <p>(2) 総合評価値及びその内訳（指標項目ごとの、指標値又は加算値、及び評価値）が確認できること。</p> <p>7 使用するインキは次のとおりとする。</p> <p>(1) 以下の①のインキを使用すること。ただし、①によれない場合は②のインキを使用すること。</p> <p>① ノンVOCインキ（石油系溶剤を使用しないインキ）又はリサイクル対応型UVインキ ② 植物由来の油を含有したインキであって、かつ、芳香族成分が1%未満の溶剤のみを用いるインキ</p> <p>(2) インキの化学安全性が確認されていること。</p> <p>(3) (1)①のインキを使用した場合は、印刷物の裏表紙等に「石油系溶剤を含まないインキを使用しています。」と表示するか、マークを表示すること。</p> <p>8 リサイクル適性</p>		

	<p>(1) 紙へのリサイクルにおいて阻害要因となる材料（古紙リサイクル適正ランクB、C及びDランクの材料）が使用されていないこと。ただし、印刷物の用途・目的から使用する場合は、使用部位、廃棄又はリサイクル方法を記載すること。</p> <p>(2) 印刷物へリサイクル適性を表示すること。</p> <p>9 印刷の各工程 印刷の各工程において、別紙表1「オフセット印刷又はデジタル印刷に関連する印刷の各工程における環境配慮項目及び基準」に示された環境配慮のための措置が講じられていること。</p> <p>10 納品時の提出書類 (1) 使用材料及びインキについて、別紙表2「資材確認票(兼 資材使用証明書)」を提出すること。 (2) 印刷の各工程における環境配慮について、別紙表3「オフセット印刷又はデジタル印刷の工程における環境配慮チェックリスト兼証明書」を提出すること。</p> <p>11 環境により良い自動車利用については、女性首長によるびじょんネットワーク企画運營業務委託仕様書「10. 環境への配慮」のとおり。</p> <p>12 その他詳細については実行委員会と協議の上、処理すること。</p>
(担当)	<p>女性首長によるびじょんネットワーク実行委員会事務局 (東京都産業労働局総務部企画調整課内) 電話：03-5388-3608</p>

表1 オフセット印刷又はデジタル印刷に関連する印刷の各工程における環境配慮項目及び基準

工程	項目	基準	
製版	デジタル化	工程のデジタル化（DTP化）率が50%以上であること。	
	廃液及び製版フィルムからの銀回収	製版フィルムを使用する工程において、廃液及び製版フィルムから銀の回収を行っていること。	
刷版	印刷版の再使用又はリサイクル	印刷版（アルミ基材のもの）の再使用又はリサイクルを行っていること。	
印刷	オフセット	VOCの発生抑制	次のいずれかの対策を講じていること。 <ul style="list-style-type: none"> ・水なし印刷システムを導入していること。 ・湿し水循環システムを導入していること。 ・VOC対策に資する環境に配慮した湿し水を導入していること。 ・自動布洗浄を導入している、又は自動液洗浄の場合は循環システムを導入していること。 ・VOC対策に資する環境に配慮した洗浄剤を導入していること。 ・廃ウェス容器や洗浄剤容器に蓋をする等のVOCの発生抑制策を講じていること。
			輪転印刷工程の熱風乾燥印刷の場合にあっては、VOC処理装置を設置し、適切に運転管理していること。
		製紙原料へのリサイクル	損紙等（印刷工程から発生する損紙、残紙）の製紙原料へのリサイクル率が80%以上であること。
	デジタル	印刷機の環境負荷低減	省電力機能の活用、未使用時の電源切断など、省エネルギー活動を行っていること。
	製紙原料等へのリサイクル	損紙等（印刷工程から発生する損紙、残紙）の製紙原料等へのリサイクル率が80%以上であること。	
表面加工	VOCの発生抑制	アルコール類を濃度30%未満で使用していること。	
	製紙原料等へのリサイクル	損紙等（光沢加工工程から発生する損紙、残紙、残フィルム）の製紙原料等へのリサイクル率が80%以上であること。	
製本加工	騒音・振動抑制	窓、ドアの開放を禁止する等の騒音・振動の抑制策を講じていること。	
	製紙原料へのリサイクル	損紙等（製本工程から発生する損紙）の製紙原料へのリサイクル率が70%以上であること。	

- (備考) 1 本基準は、印刷役務の元請か下請かを問わず、印刷役務の主たる工程を行う者に適用するものとし、オフセット印刷又はデジタル印刷に関連する印刷役務の一部の工程を行う者には適用しない。
- 2 製版工程においては、「デジタル化」又は「廃液及び製版フィルムからの銀回収」のいずれかを満たせばよいこととする。
- 3 製版工程の「銀の回収」とは、銀回収システムを導入している又は銀回収システムを有するリサイクル事業者、廃棄物回収業者に引き渡すことをいう。
 なお、廃液及び製版フィルムからの銀の回収は、技術的に不可能な場合を除き、実施しなければならない。
- 4 刷版工程の印刷版の再使用又はリサイクル（印刷版に再生するものであって、その品質が低下しないリサイクルを含む。）は、技術的に不可能な場合を除き、実施しなければならない。
- 5 オフセット印刷工程における「VOCの発生抑制」の環境に配慮した湿し水及び環境に配慮した洗浄剤については、日本印刷産業連合会が運営する「グリーンプリンティング資機材認定制度」において認定されたエッチ液（湿し水）及び洗浄剤を参考とすること。
- 6 オフセット印刷工程における「VOCの発生抑制」の廃ウェス容器や洗浄剤容器に蓋をする等及び輪転印刷工程のVOC処理装置の設置・適切な運転管理、デジタル印刷工程における「印刷機の環境負荷低減」及び製本加工工程における「騒音・振動抑制」については、当該対策を実施するための手順書等を作成・運用している場合に適合しているものとみなす。
- 7 デジタル印刷工程、表面加工工程の「製紙原料等へのリサイクル」には、製紙原料へのリサイクル以外のリサイクル（RPFへの加工やエネルギー回収等）を含む。

表2 資材確認票（兼 資材使用証明書）

作成年月日： 年 月 日

女性首長によるびじょんネットワーク実行委員会委員長 殿
 件名：女性首長によるびじょんネットワーク企画運營業務委託

資 材 確 認 票（兼 資材使用証明書）

〇〇印刷株式会社

() 本件印刷物の製作に当たっては、下記の印刷資材を使用します。(契約時)

() 下記の印刷資材を使用して本件印刷物を製作したことを証明します。(納品時)

印刷資材		使用 有無	リサイクル 適性ランク	資材の種類	製造元・銘柄名	備考
用紙	本文					
	表紙					
	見返し					
	カバー					
インキ類						
加工	製本加工					
	表面加工					
	その他加工					
その他						



使用資材	リサイクル適性	判別
Aランクの資材のみ使用	印刷用の紙にリサイクルできます	
AまたはBランクの資材のみ使用	板紙にリサイクルできます	
CまたはDランクの資材を使用	リサイクルに適さない資材を使用しています	

注1 インキ類の「資材の種類」欄には、ノンVOCインキ、リサイクル対応型UVインキ、バイオマス含有したインキの別を記入してください。

注2 「備考」欄には、用紙の総合評価値、バージンパルプの合法性、インキのNL適合等を記入してください。

表3 オフセット印刷又はデジタル印刷の工程における環境配慮チェックリスト兼証明書

作成年月日： 年 月 日

女性首長によるびじょんネットワーク実行委員会委員長 殿
 件名：女性首長によるびじょんネットワーク企画運営業務委託

オフセット印刷又はデジタル印刷の工程における環境配慮チェックリスト兼証明書

〇〇印刷株式会社

下記のとおり、各工程において環境に配慮して印刷物を製作したことを証明します。
 また、印刷工程を外部発注した場合において、外注先が基準を遵守したことを証明します。

工程 (該当に ○)	実現	基準 (要求内容)	
製版	はい/いいえ	①次の A 又は B のいずれかを満たしている。 A 工程のデジタル化 (DTP 化) 率が 50%以上である。 B 製版フィルムを使用する工程において、廃液及び製版フィルムから銀の回収を行っている。	
刷版	はい/いいえ	②印刷版 (アルミ基材のもの) の再使用又はリサイクルを行っている。	
印刷	オフセット	はい/いいえ	③水なし印刷システムを導入している、湿し水循環システムを導入している、環境に配慮した湿し水を導入している、自動布洗浄を導入している、自動液洗浄の場合は循環システムを導入している、環境に配慮した洗浄剤を導入している、廃ウェス容器や洗浄剤容器に蓋をしている等の VOC の発生抑制策を講じている。
		はい/いいえ /該当せず	④輪転印刷工程の熱風乾燥印刷の場合にあつては、VOC 処理装置を設置し、適切に運転管理している。
		はい/いいえ	⑤損紙等 (印刷工程から発生する損紙、残紙) の製紙原料へのリサイクル率が 80%以上である。
	デジタル	はい/いいえ	⑥省電力機能の活用、未使用時の電源切断など、省エネルギー活動を行っている。
		はい/いいえ	⑦損紙等 (印刷工程から発生する損紙、残紙) の製紙原料等へのリサイクル率が 80%以上である。
表面加工	はい/いいえ	⑧アルコール類を濃度 30%未満で使用している。	
	はい/いいえ	⑨損紙等 (光沢加工工程から発生する損紙、残紙、残フィルム) の製紙原料等へのリサイクル率が 80%以上である。	
製本加工	はい/いいえ	⑩窓、ドアの開放を禁止する等の騒音・振動の抑制策を講じている。	
	はい/いいえ	⑪損紙等 (製本工程から発生する損紙) の製紙原料へのリサイクル率が 70%以上である。	

備考) 内容に関する問合せに当たって必要となる項目や押印等の要否については、様式の変更等を行うことができる。なお、(一社)日本印刷産業連合会によるグリーンプリンティング認定制度による認定を受けた工場で印刷された場合には、認定証の写しの提出をもって表3の提出に代えることができる。